

センター委員会議事録

(令和元年度 第1回)

令和元年8月5日

大正地区センター

■開催日、場所

開催日 : 令和元年7月27日(土) 15:30~16:30

場所 : 大正地区センター 第1会議室

■出席者名(敬称略)

- ・センター委員 : 福井委員長、松本副委員長、川崎副委員長、川邊委員、川村委員
露木委員、宮嶋委員、山田委員
- ・大正地区センター : 館長 : 大内、副館長 : 岸本、溝田

資料	1. センター利用状況	・・・資料1
	2. インターネットによる部屋予約状況	
	3. 予算書	・・・資料2
	4. たいしょう食堂(報告)	・・・資料3
	5. センターまつりについて	・・・資料4
	6. APPENDIX	

委員長挨拶

センターが今後もさらに活発に動くように皆様のご意見を伺いたいと思いますので宜しくお願いします。

議事

1. センター利用状況（資料-1）

1-1. 利用者数推移

大正地区センターの利用者は、100,192人と目標の10万人を超えました。平成24年度からの推移では年101%の増とほぼ横ばいの傾向にあります。

利用者の年齢分布は、中学生以下20%、一般女性20%、65歳以上男性25%、65歳以上女性23%と傾向に変化はありません。

1-2. 部屋稼働率推移

部屋別の稼働率は、昨年度51%と例年並みの稼働でした。この傾向も平成23年度から変わらず、横ばいの傾向です。

昨年度の部屋利用料金収入は、378万4千円でした。過去からの推移では、部屋稼働とほぼ同期して年率9.8%（平成24年→30年度）で減少しており、センター運営の大きな課題です。

部屋毎の稼働では、体育室は平成29年度より30年度の方が稼働が上がっていますが、その他の部屋は横ばいか若干、稼働が落ちています。

時間別では、平成29年度より30年度の方が午前の稼働は上がっていますが、午後から夜間にかけて稼働が下がる傾向にあります。

2. インターネットによる部屋予約状況

4月から運用を開始しましたが、ようやく落ち着いてきました。

インターネットで申し込まれる団体の比率は、54%でした（7月利用分）。他の地区センター（60～70%以上）に比較すると、大正地区センターの団体のインターネット利用は少し低い傾向にあります。

4月から連続して一件も当選しない団体も数%存在しますが、抽選方法に問題は見つかっていません。このまま継続しますが、より使いやすくするための改良点は随時プログラム修正で対応していきます。

3. 予算書 (資料-2)

3-1. 平成30年度決算と令和元年度予算

平成30年度の決算の経常増減額（経常収益－経常費用）は、130,203円と収支プラスでした。利用料収入、自主事業収入などが予算未達でしたが、それ以上に費用の支出を抑制しました。

令和元年度の予算は、利用料収入増が見込まれない一方で、施設の老朽化による突発的な修理に対応する予算とする必要があり、協会全体で指定管理料の配分を調整し、その結果、経常収益、経常費用ともに昨年度予算比+410,000円の予算となっています。

3-2. 備品計画・修繕費計画

現状、発覚している大きな事案は、冷温水発生器の修理（済）、体育室ギャラリーの雨漏り対策（原因不明）です。施設老朽化に伴い、予期しない事案が発生するので、備品購入を最低に抑えておいて、突発事案に備えています。

3-3. ニーズ対応費実績・計画

ニーズ対応費では、大きな案件としてガス台・ガスコンベックの買い替えがあります。老朽化で本来修理すべき機器ですが、すでに修理ができない（部品調達不可）状況で、約40万円の機器購入を提案されています。高額機器であり、購入について地域振興課とも相談しながら対応を検討中です。

4. たいしょう食堂 報告 (資料-3)

開催日 : 2019年5月6日(振替休日)

参加者 : 46名(大人31名、子供15名)

事前申込 : 35名(当日キャンセル : 4名)、当日参加 : 15名

スタッフ : 31名+2名(区役所から支援)

メニュー : カレーライス、温野菜、フルーツゼリー、麦茶、お菓子

レシピ : ヘルスメイト様作成

調理器具 : 寸胴なべ : 原宿地域ケアプラザ様から借用

食器、スプーン : 和みの園様から借用

他は、大正地区センター料理室備品

収支 : ▲4,470円

収入 : 300円×31=9,300円 (大人@300円)

支出 : 13,347円 (材料費、消耗品)→60人分

材料 : 8,881円 ラップ・マスク・手袋他消耗品 : 4,466円

※ 米は近隣の方から提供 お菓子は横浜フードバンクからの提供

次回以降開催 : 8月10日(土)、11月4日(振替休日)

事業形態 : 実行委員が団体を立ち上げて、その団体の事業として実施。

補助金 : 大正地区社会福祉協議会から3万円の補助を受けました。

5. 大正地区センターまつり (資料-4)

12月7日(土)～12月8日(日)

現在、参加団体の申込受付中です(締め切り 8月20日)

大正中の吹奏楽演奏は今年も行うことで了解を得ていますが、さらに大正小学校の和太鼓演奏も検討をお願いしています。

模擬店も増やす方向ですが、スポーツ団体による模擬店の出店についてスポーツ推進委員の桜井様に取りまとめをお願いしています。

6. APPENDIX

・印刷料金改定のお知らせ

これまで、お客様にお持ちいただいた用紙についてもカラー印刷機でご利用いただいてまいりましたが、同型機種を設置している他施設において、紙づまりが多発し、修理の期間、多くの皆様にご不便をおかけする事態となりました。

このため、令和元年10月1日(火)から、用紙持ち込み印刷の取り扱いを中止することといたしました。

・夏まつりのご案内

8月16日(金) 15:00～

今年度は、例年の出し物に加えて、宝製菓株式会社の共催により盆踊りを最後まで参加するとともに、景品(お菓子)を提供することを予定しています。

・井戸端会議(8月)

井戸端会議の中で、「コミュニティ FM ラジオを豊かな生活・防災に生かす」といタイトルで、パーソナリティの相浦やよいさんをお招きしてお話を聞きます。

日時 : 2019年8月30日(金) 13時～

場所 : 大正地区センター会議室

お客様 : エフエム戸塚パーソナリティ 相浦やよい様

① スマートフォンでエフエム戸塚を聞くには

② エフエム戸塚を豊かな生活、防災に生かすには

・ハグ・ザ・ライフ ～生命(いのち)を抱きしめよう～

・平時、災害時の情報提供 ～戸塚区との防災協定締結～

ご意見・質問等

委員：今まで右肩上がりの予算しか見てこなかったので、大正地区センターでは苦勞して運営していることと思います。今の説明で分からない点や来館者を増やす案がありましたらよろしくをお願いします。

委員：予算書の49行、租税公課とは何ですか。

大内：内容は消費税です。

委員：7行の、自主事業収入とは何ですか。

大内：大正地区センターが主催する講座の参加費です。

委員：自主事業費が予算未達の要因は何ですか。

大内：参加者が計画より少なかったこと、それに、参加者が極端に少なく講座そのものを開催しなかったことが大きな要因です。

委員：体育室を利用していますが、天井のLED照明が点いたり消えたりして非常に使いにくい状態です。修理の計画はどうなっていますか。

大内：2016年4月1日～8月31日の工期で、「吊り天井等改修工事」を実施し、その際、照明器具をLED機器に交換しています。そのLED照明器（20基）が、時折、消灯する不具合が多発しています。2018年10月、2019年4月にも同様の症状でLED基板を交換しています。

メーカーの調査で、原因はLEDそのものではなく、制御基板の初期不良と判明しています。このような状況で、全数、不良基板を交換（修理済を除く）するところで、その日程を調整しています。

委員：修理費用はどうなっていますか

大内：初期不良ですので、メーカー側が負担します。

委員：玄関を出たところのタイルが沈んできている。以前、陥没が至る所にあると聞いていますが、何か起きないといいな、と思っています。これから何かあるかわかりませんが、チェックしておいた方が良くと思います。

大内：特に、体育室の入り口付近が激しいですが、原因は地盤の陥没だと思います。区役所には報告していますが、進捗は思わしくありません。

委員：区役所の方にはしっかりと言いたいと思っています。

委員：裏庭の陥没も気になっています。横浜市がやることと、地区センターの運営の中でやらないといけないことの区別はどうなっていますか。

大内：修理、備品購入は60万円までは地区センターの運営の中で対応して、それ以上は横浜市（区役所）の費用で対応していただく、というルールになっています。

委員：青少年指導員のイベントで裏庭を利用していますが、もったいないと思っています。利用者側からも強く要望して、なんとかしてもらえないかと思っています。

大内：青少年指導員さんのイベントでは指導者というか見守りの大人が沢山いるので、安全上問題はないとの判断で、裏庭でイベントを開催していますが、そのような見守りがいない状態で一般開放することはできません。うまく利用するには、そのような見守りがいるような使い方なのかな、と思います。青少年指導員さん以外にも石鹼を作ったりとか、しっかりとした指導者がいる中で利用していただいています。

陥没は、毎年悪化してよう見えますし、区役所には伝えていますが、修理するまで至りません。

委員：体育室の稼働が高く、アンバランスの状態となっている中で、隣の空き地は利用されていません。そこに施設を作って使ってもらえば、収入も上がるし、稼働のバランスも良くなるのではないのでしょうか。

委員：施設を作ると、今度は分散化で稼働率が下がってしまう心配もあります。

委員：青少年指導員のイベントで部屋を利用していると、もっと広い部屋があった方がよいか、色々と要望が出てきますが、現状の施設ではその要望を叶えることは困難です。新しい広い施設ができれば、それを利用させてもらえるとと思います。

大内：現状の平均の部屋稼働率は51%で、この状態で新しい施設を作るというのは、なかなか説明が難しいです。

まず、特に夜間の稼働を上げて平均稼働率を上げることが先かと思います。

委員：高齢者の利用が増えている中で、夜間の利用を増やすのも大変かと思います。

大内：夜間、地区センターの周辺は暗くて防犯上の課題もあります。

委員：近くの農道が真っ暗だったので、区に相談したら1灯だけ設置してもらいましたが、1灯では不足で、まだ暗いですが、直接、区に相談してみたらいかがでしょうか。

大内：センターの敷地内が暗いので、そこから変えないといけません。

最近、夜間、付近にたむろする人が居るとのことなので、このようなことが続くようであれば、交番に届けて、見回りをお願いしようかと思っています。

委員：印刷料金が上がることは影響が大きいと思います。現在、センターを利用する最大のメリットは料金が安いことです。自治会が保有する印刷機を利用すると1枚3円50銭なので、センターの印刷機は利用しなくなります。総会で1万枚以上印刷していたものがなくなりますので、収入が大幅に減少することになります。

委員：青少年指導員も、たいしょう食堂にボランティアで参加しました。外で、水風船で遊びをしましたが好評でした。ただ、時間配分がむずかしかったように思います。今回は、満席で待つ方が1組だけでした。今後の課題として席数をどうするのか。増やすのか、減らすのか、新しい組織の中で検討する必要があると、青少年指導員のなかでも議論になりました。

大内：何回か行う中で、色々な意見が出てきて、この結果、良い方向に収束するのだと思います。大正地区は、他に比較するとボランティアの方が多く、羨ましいといわれています。本当に助かっています。

以上